

【褒賞申請書】

事業名称	一般社団法人札幌青年会議所 未来の都市環境創造事業 魅力あふれる札幌の創造～これからの都市のカタチを考える～
申請部門	WEB・広報活動部門

申請LOM	北海道地区協議会 北海道ブロック協議会 一般社団法人 札幌青年会議所
LOMの人数	172 名
理事長名	池崎 潤 (いけざき じゅん)

本事業の	会員数	172
	関係者数	25
	一般参加数	232

事業実施に至った背景 (事業実施の必要性を記入)	<p>札幌は、市外・道外の人々から将来住みたいと望まれる、魅力溢れるまちとして全国的に人気のあるまちです。</p> <p>現在、多くの団体がこの札幌が魅力あるまちであり続けるよう、まちとひとのために夢をもって活動しています。今後札幌のまちが発展し続けるには、次世代を担う若者の力が必要不可欠ですが、約半数の学生が卒業後道外へ転出する現実に、まちの活力の低下が懸念されています。</p> <p>誰もが札幌に住み続けたいと思える都市環境を創造するには、次世代の若者がまちの魅力を実感し、まちの担い手としての責任と自覚を持たなければなりません。札幌青年会議所は札幌市と2011年に「さっぽろまちづくりパートナー」協定を締結し、行政と密接な関係を構築しておりますが、活発なまちづくりを促進していくためには、行政や企業との関係を活かしながら、若者をはじめとする市民一人ひとりがこれからの都市のカタチについて考え、自ら札幌の未来像を描き、当事者意識を創出する必要があります。</p>
-----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の目的	<p>(1) 未来を担う若者と企業、行政と札幌市の未来の都市環境について研究することで、継続的な地域開発のためのネットワークを構築する。</p> <p>(2) 札幌に住む市民に、将来も住み続けたいくなる安心で安全な都市について考える機会を提供することで、魅力溢れる都市環境について考えられるよう意識変革を促す。</p> <p>(3) 若者が積極的な意識改革を促すことで、持続可能な地域開発を可能とするリーダーを育成する。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の概要	各大学・企業・札幌市の訪問し、市職員と大学教授と連携を取りながら、問題意識をもつ大学生たちを集め、3回にわたり、未来の都市環境についての研究会を開催し、グループディスカッションを行いました。その後、未来の都市環境について、各チームごとにパネルにまとめました。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>より優秀なパネル３点を例会にて発表し、市民に採点していただく形でコンペティションを行いました。</p> <p>研究会に参加した、向上心の強い学生１１名とともに実行委員会を結成し、例会の構築などを一緒に行うことで、リーダーシップのＯＪＴを行うとともに、学生たちと行政とのネットワークを構築いたしました。</p>	
開催期間・タイムスケジュール	２０１３年３月６日～２０１３年１２月２８日	
開催場所	北海道立道民活動センター かでる２．７ かでるホール（２０１３年１０月１６日例会）、札幌市役所、市内各大学	
事業区分	新規事業	
公益・共益区分	公益事業	
協力団体と協力団体の参加員数	共催	
	協賛	スクールＩＥ北海道ＦＣ 他２２社
	後援	札幌市、北海道工業大学他市内各大学
	その他	
事業対象者	札幌市民１９３万人	
行動(ACTION TAKEN)	<p>(1) 各大学・企業・札幌市の訪問し、市職員や大学教授と連携を取りながら、問題意識をもつ大学生たちと３回にわたり、未来の都市環境についての研究会を開催し、未来の都市環境について、１１チームからさまざまな提案をいただき、パネルにまとめました。</p> <p>(2) 研究会に参加した、向上心の強い学生１１名とともに実行委員会を結成いたしました。彼らは「未来の都市環境創造」例会の開催にあたり、行政との折衝や企画運営を札幌青年会議所メンバーとともに行いました。</p> <p>(3) 例会では、１１チームから選ばれた３組が自らの考える未来の都市環境についてプレゼンテーションを行い、順位を競いました。</p> <p>(4) ３組の学生は、高知県高松市など、まちづくりに精力的な都市に視察を行いました。視察費用は趣旨に賛同いただいた企業からの協賛で賄うことができました。</p> <p>(5) 例会後、実行委員会の学生１１名とともにパネル展を行いました。各大学や札幌駅地下街で、学生や市民に対し、１１組のパネルを発表したほか、北海道工業大学で講義に使われました。</p>	
結果(RESULTS)	<p>(1) 学生たちは自分の住むまちについて研究することで課題を認識し、改善策を研究することで意識変革を遂げました。</p> <p>(2) アンケート結果では、１１名の学生全員が実行委員として、例会の運営をすることでリーダーシップを学び、成長の機会を得たと答えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・１１名のうち一人は、ＪＣＩ札幌の研究会の手法を取り入れた、社会的課題の解決を図るための研究会を主催し、リーダーシップを発揮しています。 ・また、一人は上記の研究会に所属し、震災復興などの活動に多くの仲間と参 	

	<p>加することでリーダーシップを発揮しています。</p> <p>(3) 学生のプレゼンテーションに市民は共感をいたしました。アンケート結果では、参加した市民の97%が当事者意識をもった地域開発の重要性を理解し、参加した市民の87%が次回のコンペティションを希望しています。</p> <p>(4) 学生たちは札幌以外の都市を視察することで、未来の都市環境について具体的に研究をすることができました。企業と連携をすることで、視察費用を賄うことができました。</p>
事業総予算・収支	<p>収入計：350,000-</p> <p>支出計：1,294,173-</p>
地域社会への影響	<p>(1) 札幌青年会議所と札幌市が2011年に締結した「さっぽろまちづくりパートナー」協定に基づいて推進した事業として、札幌市のHPを通じて市民へ広く発信されております。</p> <p>(2) 札幌大谷大学では、プレゼンテーションのテーマとして都市環境の創造が取り上げられ、地域振興に影響を与えています。</p> <p>(3) 各大学とのネットワークが強固に構築された結果、2014年度も引き続き各教授に札幌青年会議所運動にご協力いただいております。</p>
LOM への影響	<p>地域のリーダーとして、自らの都市環境の創造について主体的に関わることの重要性を認識し、今後の運動へとつなげる契機となりました。</p>
事業の長期的な影響	<p>学生、市民が地域開発の当事者として札幌の未来について考えることで持続可能な地域開発を行うこと。</p> <p>リーダーシップを発揮した学生が、主体性をもって札幌の地域開発を牽引すること。</p> <p>学生と企業、行政が継続的な地域開発のためのネットワークを維持すること。</p>
考察や推奨	<p>未来を見据えた持続可能な地域開発を行うには将来を担う若者の力が必要です。</p> <p>若者に積極的な地域開発に貢献してもらうためには、若者に魅力ある札幌を創造したいという意識改革を促す必要があります。</p> <p>(1) 行政と企業に研究の協力を求めたことで学生、企業、行政による継続的な地域開発のために必要なネットワークを構築することができました。</p> <p>(2) 学生とともに未来の都市環境について研究することで地域開発に興味をもつきっかけを与えることができました。</p> <p>(3) 学生たちのなかからリーダーシップを発揮し、能動的に地域開発に関わる者が生まれました。</p> <p>(4) 札幌青年会議所は今後も能動的変革者を創造するために、将来も住み続けたい安心で安全な都市の将来について研究する機会を提供する必要があります。</p>

その他

本事業は一年をとおして、札幌青年会議所メンバーだけではなく、学生たちとともに構築した事業でありました。

発表など事業の表面を担っていただくだけではなく、事業の企画・運営及び行政や企業との折衝を学生たちと行うことによって、札幌の将来を担うであろう若者たちに、行政や企業とのネットワークを構築し、今後の都市環境の創造を行うための土台を築くことができました。